

テレボートでボートレースを楽しむファンにお届けする、充実の1冊！



# マクール

2022  
SPRING

Zensoku **TELEBOAT** Version

遠藤工三  
守屋美穂・平山智加

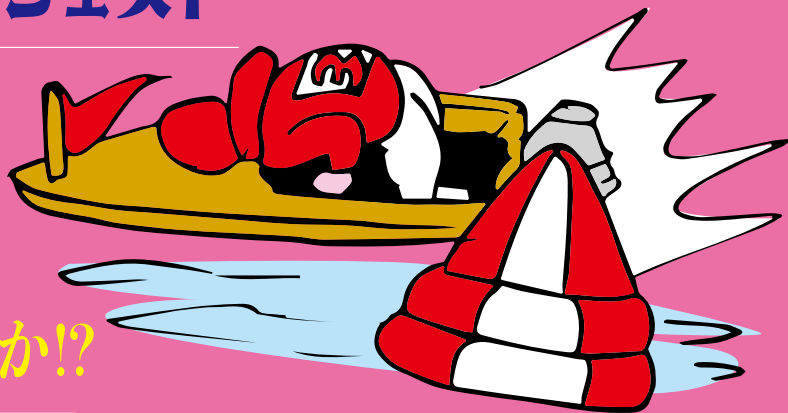
人気女子戦を牽引中！

とっておきの話をお届け！

インタビューダイジェスト



マクール特集より  
電投で今、  
何を知っておくべきか!?



撮りおろし!!

ガールズお宝ショット!

メモリアル、ダービでSG奪取!



原田幸哉 & 平本真之

テレボート会員限定特別冊子（非売品）

2022  
SPRING

# CONTENTS



スペシャルインタビュー

原田幸哉&平本真之 ..... P01

本誌特集より

電投で今、何を知っておくべきか ..... P06

マクルインタビューダイジェスト

レーサーのこぼれ ..... P10

テレポースペシャル

ひまひまデータ OFFLINE ..... P14

ボートレース4コマ漫画

愛妻電投 ..... P18

嬉しい動画満載サイト

BOATCAST ..... P22

レディーストップレーサー リモートTALK

平山智加・守屋美穂・遠藤エミ ..... P23

撮り下ろしグラビア 13Rの彼女

野田なづき・野田彩加・内山七海 ..... P28

2022年度も開催します

ミッドナイトボートレースでGO! ..... P32

注目ビッグレース

SG・PGIなど開催スケジュール ..... P33

ウェブでも楽しめます!

この冊子の内容はウェブ上でもご覧いただけます。  
また、P01、P23、P28の記事についてはyoutubeのマクルCHにて取材模様の動画もご覧いただけます。各QRコードからアクセスしてください。

冊子



動画



TELEBOAT  
Special  
Interview

マスターズC最年少V・メモリアルV

原田幸哉

3779

4337

平本真之

ダービー王

初出場のマスターズチャンピオンで史上最年少Vを飾り、メモリアルで12年ぶりのSG制覇を果たした原田幸哉。そのメモリアルで準優勝、続くダービーを初制覇した平本真之。元・同支部の先輩後輩であり、良きライバルでもある2人が、激動の2021年を振り返る。



TELEBOAT

# Special Interview

# Yukiya HARADA



## メモリアルでは焦りなく レースができたと思う。

——もともとは同じ愛知支部の先輩後輩ですが、おふたりの出会いって覚えてますか？

**原田** えっ？ 全く覚えていないんだけど……。

**平本** 僕ははっきり覚えてますよ。僕がデビューした時、幸哉さんは愛知支部の役員をされていたんですよ。ルーカーはデビュー前に新聞社回りをす

るんですけど、それに同行してもらいました。

**原田** えっ、ほんとに？

**平本** その頃の幸哉さんは新人選手とマジで関わりを持たない、ぶっさらほうというか怖い先輩でした(笑)。

**原田** 誰ともしゃべらない感じだったもんね。完全にシャットアウトして、誰ともしゃべらない人生を送っていま

した(笑)。

**平本** 全然しゃべってくれなかったです(笑)。

**原田** 僕が人と会話をするようになったのは30歳くらいの時かな。それまでは先輩とは全く会話がなかったね。

**平本** 壁を作っていましたもん。同じグループの人しかしゃべらなかった印象です。

**原田** まあ同じグループの人間も全然いなかったけど。その頃の僕としゃべってくれたのは、(山崎)智也さんくらいかな。同県の先輩ともほとんどしゃべらなかったし。

**平本** 今は仲良くさせてもらっています(僕だけ)。幸哉さんの自宅にも遊びに行っただけがありますし、幸哉さんも僕の家に来てくれたことがあります。

**原田** ヒラちゃん、1回俺が不在の時にも来たもんね(笑)。

**平本** 沖繩が好きなんですけど、僕が沖繩に行く時、幸哉さんは大体いないんですよ。でも沖繩旅行の予定の中に「幸哉さん家を訪問する」というのがあったんで(笑)。でも家に入り込むわけじゃないんですよ。

**原田** 家の前から写メだけ送ってくるんだもん(笑)。

——おふたりとも買い物に興味どうかがいましたか？

**原田** 俺もそうだけど、ヒラちゃんは欲しいものをすぐ買うタイプだからね。車も家も。でもこの前、ヒラちゃんに負けたことがあって……。宿舎で同じ雑誌を見ていたら、気に入ったヴィトンのリュックがあったんで、これ終わったら買おうってなったんですよ。でも僕は忙しくて買いに行けなかったんですけど、ヒラちゃんは次の節で会った時、そのリュックを背負ってきて。あれはショックだった。初めて人に買った物で負けたって思った(笑)。

**平本** 幸哉さんも違う車を買って行っ



たのに、ついでにフェラーリまで買う人じゃないですか(笑)。僕は優柔不断だけど、幸哉さんは決断がすごい。

**原田** 車は最大で6台所有していたことがあったかな(笑)。

——そんなふたりは昨年仲良く？ S  
G制覇。一年を振り返って。

**原田** 結果は今ままで一番だったし、勝負強かったかなっていう気はしますね。メモリアルの優勝もだけど、マスターズCのすぐ後の徳山GIを勝てたことで、気持ち的な余裕ができたのが大きかったと思う。前半で記念を勝てていないと、結果を残さなきゃっていう焦りが出てくるんだけど、メモリアルは焦りなくレースができたと思う。エンジンも出ていたし、これならやるんじゃないかなっていう気楽な感じがあったかな。

**平本** 僕は幸哉さんとは逆で、上半期の記憶がぼなくて(笑)。今年はグラブリなんて、とてもじゃないけど行ける立場じゃないって正直、思っていました。

**原田** でもヒラちゃんは、今年に限らずここ数年の安定感はすごいなって思う。昔は浮き沈みが激しかったけど、大人になっていろいろんことを考えられるようになったんじゃないかな。それにトライする精神が強いから、それがいい結果に繋がっているのかなって思う。

**平本** 僕から見た幸哉さんはいつも変わらなかつたです。相変わらずカッコいいなと(笑)。確かに蒲郡のメモリ

# Masayuki HIRAMOTO



## 蒲郡周年の優勝でモチベーションがグッと上がりました。

アルの時はすごい気迫を感じましたけど、それ以外はほんといつもの幸哉さんでした。

**原田** でも優勝した3節以外は内容がチグハグでボロボロ。一番ストレスの溜まった一年でしたね。ダメな時が多すぎて。結果もだけど、内容が悪い。一昨年の方が、結果は悪いけど内容的には納得っていう気がします。ストレスはだいぶありますね。エンジンを出

し切れる節が少なく、悩みが多かつた。

**平本** 幸哉さんでも悩むことあるんですね(笑)

**原田** 常に悩んでるよ(笑)。エンジンを出し切れれば、あとはレースでの自分自身の問題だからね。そのレースもうまくいっていなかったから、今年に限ればダブルで悩んでたね。

——平本選手は6月の蒲郡GI、原田

選手は8月の蒲郡メモリアル優勝と、地元(元地元)戦がターニングポイントになった。

**平本** 流れが変わったのはその蒲郡GIですね。あの優勝で賞金ランキングが18位くらいまで上がって、これでモチベーションがグッと上がりました。

**原田** ヒラちゃんからしたら、俺はもう愛知支部じゃないでしよって思うかもしれないけど、地元意識って、支部



# YUKIYAMA HARADA

TELEBOAT  
Special  
Interview

単位とかじゃないと思うんですよ。僕は長崎支部に移籍するまでの23年間、蒲郡を背負ってずっと走ってきたわけだから、常に。そういった意識は忘れられないし捨てられない。蒲郡の人たちもそういう思いで見られていると思うんで。でもこの優勝でかなりすっきりしました。

**平本** 地元のSGやGIがあると、それに向けてという気持ちがあるかもしれないけど、それ以外は一般戦でも記念でも常に同じ気持ちで走っています。でも逆にそれがダメなところかもしれないですけどね。だぶん辛哉さんはこういうタイプが嫌いだと思うんですよ。ちゃんとSGの重みを感じて走れって言う人なので(笑)。

**原田** 重みというか、僕はレースは何もかも一緒って言うのは違うと思う。例えばSGの準優や優勝戦でのFはベナルティーがあるし、稼ぐ人のほとんどはリスクとリターンを考えています。その中でやらなきゃいけないし、やるのが当たり前だから。なので地元だから頑張ろうとかは言葉には出さず

ど、実際にはどのSGも変わらないと思うんですよ。でも一般戦でそこまでリスクを背負ってできるかと言われるばやっぱりできないと思う。20代前半ならそんなの関係なくイケイケだったと思うし、みんなが乗れない江戸川も関係ないって感じだけど、やっぱりリスクに気付くとね…。ヒラちゃんもどこかで分けていると思うよ。

**平本** そうかもしれない。(笑)。

——今年は大村でクラシックとグランプリ、常滑ではダービーが開催される。

**原田** 大村でSGが決まった時、まずクラシックの権利を取らないといけないって思った。だからマスターズCを勝った時はその点で本当にうれしかった。昨年は一般戦をほとんど走っていないから。お盆戦の後は正月戦だもん。GIを優勝しないとクラシックはほんと出られないですからね。

**平本** クラシックは本当に狭き門なんですよ。常滑に関して言えば、スタンドが新しくなりました！ 現代的ですごくいいスタンドでした。防風ネットができて、2Mの水面も荒れなく

なりましたし。最近では中止順延することなくなつたんじゃないかな。

**原田** レーサーとしてはありがたいよね。水面が良ければ、ターンで勝負できるからね。

——マスターズ世代、オジサン、の活躍は続くのか。

**原田** 正直、30代後半から40歳くらいの間で、一旦落ち着く時期があるんですよ。ずっとうまく行かないというイケイケじゃなくなるというか。まあ例外もあり得るけど。例えばずっとグランプリに行くのが当たり前だったのに、1回行けないと「まあ来年頑張ればいいや」みたいな気持ちになつて、何が何でも今年も行くぞ、みたいな強い気持ちが薄れたりする。そういう時期なのかなって気はします。で、40歳を過ぎてくると、最後にもうちょっとやってみようかなとか、やれるだけやって終わろうかなっていう気持ちが再燃してくるんじゃないかなって思う。まあ僕自身はまだ年齢を気にして走ったことはないけど、昨年は久しぶりって言う人がたまたま勝つただけで、





Masaayuki HIRAMOTO

これまでも吉川ゲンちゃん(吉川元浩)とか白井英治も活躍しているので、そんなに特別感はなかったかな? でも吉川ゲンちゃんがクラシックを連覇した時は、すごい刺激になりました。とかゲンちゃんでもできるんだって思った(笑)。俺の方が3つ年下だからまだまだやれるなって(笑)。

**平本** 僕ももう37歳ですからね(笑)。でも今年連続でグランプリに行っているけど、もし次ダメになったら、さつき幸哉さんが言ったように停滞パターンに陥る可能性はあるかもしれないね。踏ん張らないといけないっていうのがあるかもしれないですね。

**原田** ボートはほぼメンタルだから。7割はメンタルかなって感じがする。ベテランでもまだまだやれるけど、もういいやって思っちゃうとやれなくなる人っているしね。やる気を出せば、まだまだできる人ってたくさんいるよ。

——男子の最低体重が52kgになったこととやる気が出たましたか?

**原田** だいぶ違いますね、この1kgは。減量はもちろんしていますけど、無理せずにできるようになった。コンディションを整えて減量できるようにもなった。無理して減量すると、脳の反応とかも悪くなると思うんですよ。頑張るのはいいけど、無理するのは…。

**平本** 僕は自分に甘えすぎて、最低体重が50kgから51kgになって52kgになったら、自分もそれに合わせて同時に増えていきました(笑)。以前は減量なんか気にするタイプじゃなかったのに、30歳を過ぎてからはブクブクと増えちゃって。年齢を感じるののは、眠りが浅くなったり、長時間寝れなくなることですかね。メンタルですね(笑)。

**平本** 僕は肉体改造をしたいから、自宅にジムを作ろうかな。いや、作るんかな? (笑)。それか、庭にサウナを作ること。サウナは嫌いなんですけど、減量のアイテムなので、家なら違う気分で入れるかもって思ってます。幸哉さんよりスケールが小さくてすいません(笑)。菊地さんと横澤剛治さんみたいに、土地を買ってキャンプ場やみんなの遊び場を作ってみたいなって思いもあります。

——今後の目標をひとつ教えてください。

**原田** 菊地孝平にゴルフのスイングがブサイクだから直せって言われたので、自宅に離れを建てて、そこにシミユレーションゴルフの部屋を作って、スイング改造をしようと思います。だから今年も頑張ってます(笑)。

——最後にファンのみなさんへ。

**原田** 昨年は蒲郡でSGを優勝できた。今年は大村でクラシックとグランプリがあるので、そこでファンの皆様を魅了するようなレースができるように。アグレッシブに走りますので、応援よろしく願います。



# 電投で今、

## 何を知っておくべきか!?

すぐ明日から使える情報をチェック!!

ボートレースの大きな特徴をいくつか挙げてみよう。女子戦の人気の高いこと、場によってレース傾向が違うこと、1日2回乗ること、現役期間が長いことなどだ。ここでは月刊マクルの特集から、こうした特徴に触れたヒントを抜き出してお伝えしよう。

まくり差しの決まりやすい浜名湖水面



ボートレースの面白いところ、そして難しいところは、全国にある24場それぞれに特徴が大きく異なること。水質や水面の大きさによってレース形態が大きく変わってきて、それが「決まり手」の差になって現れてくる。

まず「逃げ」では、この10年ほどは大村・芦屋・徳山が「御三家」と呼ばれるほど強かったのだが、21年は尼崎が徳山を抜いた。逆に弱いのは戸田・江戸川・平和島で、

決まり手って全国24場でこんなに違うのだ!!

### ●全国24場・各決まり手の多い場と少ない場

\*「恵まれ」は数字が少ないので省略しています

・各決まり手の多い上位3場 1位 2位 3位

・各決まり手の少ない下位3場 22位 23位 24位

場	逃げ	まくり	まくり差し	差し	抜き
桐生			12.9		
戸田	40.6	25.8			
江戸川	41.0	18.4		16.4	11.0
平和島	41.7			20.6	
多摩川					
浜名湖			14.3		
蒲郡					
常滑					4.9
津		12.1			
三国				16.1	
びわこ					
住之江					5.8
尼崎	60.1	12.1			
鳴門					8.3
丸亀					
児島			12.7		5.8
宮島				10.1	
徳山		11.5	8.8		
下関				10.8	
若松			8.9		8.6
芦屋	61.6			9.0	
福岡		19.7	8.5		
唐津					
大村	60.4	11.3			
全国	52.7	15.2	11.2	13.3	6.9

\*集計期間:2021年1月1日~21年12月6日の全レース

「まくり差し」の比率は上位と下位の差が小さい。最も多いのは広大な水面の浜名湖だが、最も少ない福岡と5・8%しか違わない。浜名湖は確かに毎年トップクラスだが、2位以下はよく変わる。それと対照的なのが「差し」だ。全国最多の平和島では、実に20%を大きく超える。最少の芦屋はその半分以下で、11・6%もの差がある。SGなどのビッグレースでも差し決着が多いのが平和島だ。そして、「抜き」といえば江戸川。全国唯一の河川を使用したレース場であり、水面相性がモロに出る。とくに荒天水面になると逆転劇が多発する。

こちら「逃げ」が少ない方の「御三家」といえる。「まくり」は「逃げ」の少ない場で幅を利かせる。戸田・江戸川に、今年は福岡が加わった。「まくり差し」の比率は上位と下位の差が小さい。最も多いのは広大な水面の浜名湖だが、最も少ない福岡と5・8%しか違わない。浜名湖は確かに毎年トップクラスだが、2位以下はよく変わる。それと対照的なのが「差し」だ。全国最多の平和島では、実に20%を大きく超える。最少の芦屋はその半分以下で、11・6%もの差がある。SGなどのビッグレースでも差し決着が多いのが平和島だ。そして、「抜き」といえば江戸川。全国唯一の河川を使用したレース場であり、水面相性がモロに出る。とくに荒天水面になると逆転劇が多発する。

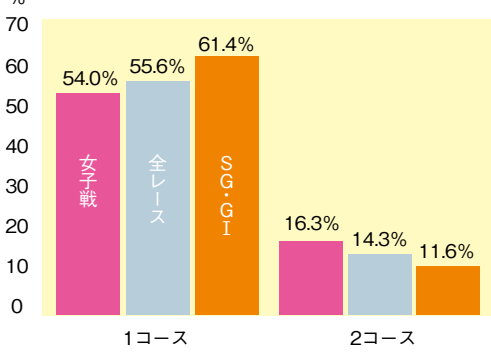


# 女子戦を制する第一歩は 決まり手に精通すること

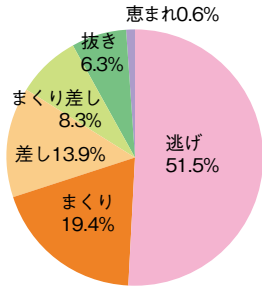
ますます人気の上がる女子戦。一般戦や記念(GI・SG)レースとも傾向が異なるので、その基本をしっかりとっておきたい。

まずはインの信頼度が、一般戦や記念よりかなり下がること。記念に比べれば7%以上も低くなる。最近では若手の女子が増えていることもあり、イン先マイに慣れていないレーサーが多い。1マークで他の艇にさばかれてしまうケースや、スタートが合わずにスリット回りで叩かれてしまうシーンも少なくない。そしてインが弱い分、注目したいのは2コースの強さだ。2コースの動きがレース全体に与える影響がとても大きい。

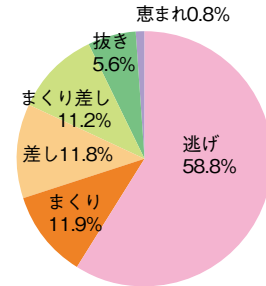
## ●女子戦と他のレースの1・2コース別1着率



## ●女子戦の決まり手分布



## ●SG・GIの決まり手分布



\*集計期間:2021年1月1日~12月6日

続いて二つの円グラフを見てもらう。記念と比べて「逃げ」が7%以上低いが、その分以上に決まっているのが「まくり」。これが女子戦最大の特徴といえる。まくりが決まりやすい理由としては、スタート力に差があることや、そもそも「まくり体質」というタイプが多いようだ。記念では差しが圧倒的に多い2コースでも、女子戦はじかまくりが多く、これが予想を難しくしている。

また「まくり差し」は記念に比べて少なく、まくりに乗っての「差し」や、外枠から最内を差した艇が届くことが多いことを注意したい。

一気に2点近く勝率を上げた實森美祐



前期は勝ちまくった田口節子



## ●適用勝率が前期に比較して0.50以上上昇した女子レーサー(A級以上)

登番	レーサー	期	支部	勝率	優出	優勝	前期勝率	勝率差
4050	田口 節子	85	岡山	7.85	9	4	6.96	+0.89
4482	守屋 美穂	101	岡山	7.56	6	4	6.97	+0.59
4804	高田ひかる	113	三重	7.08	5	1	6.11	+0.97
3618	海野ゆかり	71	広島	6.85	5	0	6.25	+0.60
4208	三浦 永理	91	静岡	6.83	4	0	6.25	+0.58
3232	山川美由紀	57	香川	6.83	4	0	5.84	+0.99
4825	倉持 莉々	114	東京	6.42	0	0	5.51	+0.91
4289	落合 直子	94	大阪	6.31	1	1	5.49	+0.82
4900	中田 夕貴	117	埼玉	6.23	5	1	5.56	+0.67
4963	實森 美祐	119	広島	6.20	2	0	4.30	+1.90
4870	新田 有理	116	広島	5.98	2	0	5.39	+0.59
3994	茶谷 桜	83	滋賀	5.72	0	0	4.69	+1.03
4998	中村かなえ	121	東京	5.57	2	0	4.54	+1.03
4882	瀧川 千依	116	広島	5.52	0	0	4.52	+1.00
4224	大橋菜里佳	92	福岡	5.47	0	0	4.85	+0.62
4738	清埜 翔子	111	埼玉	5.44	0	0	4.81	+0.63

\*来期適用勝率:2021年5月1日~10月31日までの成績

\*前期勝率:2020年11月1日~2021年4月30日までの成績

女子レーサーは、総じて調子の波が大きい。若手の成長株が大きく勝率を上げるのは想像できるだろうが、ベテランや長期欠場明けのレーサーがいきなり絶好調モードに入ることが珍しくない。

左の表では、22年前期の適用勝率が21年後期に比べて0.50以上上昇したレーサーを掲載している。A級以上に限定したのでこれだけにとどまっているが、出走回数不足ながら高勝率を残したり、3点台から5点前後に一気に上げた、この表に載っていない女子も複数いる。

若手で大きく勝率を上げたグループとしては、倉持莉々・中田夕貴・實森美祐・

新田有理・中村かなえ・瀧川千依らが挙げられる。倉持・中田・實森は初のA1昇級で、とくに實森は2点近く上げてB1級からの飛び級だ。

ベテランの巻き返しという点で注目すべきは、田口節子と山川美由紀。田口は凄まじい優出ラッシュで、21年の1着数では全レーサー中トップの勢いだ。山川は55歳にして勝率を1点戻してきた。

そしてさらに厳密にいうなら、「女子レーサーのリズムは3カ月単位で変わる」と指摘する記者もいる。その戦術を採用するなら、女子の戦力比較は近況3カ月の勝率を重視すべきだろう。



# 女子は調子の波が大! 近況3か月を最重視せよ!!



# エンジンが全て、のレースもいち早く強力機発見を模索!

現行エンジンでは、時に信じられないような強さを発揮する「オバケ」エンジンが生まれていることがある。昨夏、丸亀の全国ボートレース甲子園で毒島誠を優勝に導いた64号機は、毒島をして「日本一のエンジン」と言わしめたし、昨年はそれ以外にも児島36号機、若松14号機、浜名湖48号機など、全国的に話題をさらったエンジンが生まれた。

こうしたエンジンを追いかけて舟券を買う作戦はもちろん有効だろう。ただ、すでにエース機などの称号を得てい



## ●各レース場 エンジン更新時期

レース場	更新時期
桐生	12月下旬
戸田	7月下旬
江戸川	4月下旬
平和島	6月中旬
多摩川	5月中旬
浜名湖	4月中旬
蒲郡	5月上旬
常滑	12月上旬
津	9月中旬
三国	4月上旬
びわこ	6月上旬
住之江	3月中旬
尼崎	4月上旬
鳴門	4月下旬
丸亀	11月下旬
児島	1月上旬
宮島	11月下旬
徳山	4月上旬
下関	3月中旬
若松	11月上旬
芦屋	5月下旬
福岡	8月中旬
唐津	8月下旬
大村	7月上旬

ば、それだけ買うファンも多くなり、味は小さくなりがち。できればオバケやエース機という評価が確立する前を狙いたいものだ。

そのためには、各レース場のエンジンの交換時期を意識しておき、新機導入後は現場からの「ナマ声」を追いたい。手前みそになるが、本誌月刊マクルでは各場の担当記者が新機導入後に良機候補をリストアップすることも多い。またスマホマクルの「毎日ニュース」では、シリーズの毎日、現地記者がエンジンパワーランキングをレポートしている。データには表れにくい評価をキヤッチすることにつながるだろう。スポーツ紙や予想紙の選手コメントや機評価もマメにチェックしたい。また出走表に記される中間整備情報も見逃せない。

番号のみのエンジンには肩入れしにくいことは確か。しかし現代レースにおけるエンジンの重要性を理解し、エース機の先取りを目指すことは新しい楽しみ方になり得る。春以降、各場で新機導入が続く。ぜひお試しを。



# ボートの「2回乗り」を実戦の出走表から学ぼう

ボートレースでは、レーサーが1日に2回のレースに乗ることも多い。その「2回乗り」について、基本的なことを知っておこう。

ボートの番組は、一般戦とGⅡ以上の記念戦では大きく異なる。ごく簡単に言えば、一般戦では「売上を考え魅力あるレースを提供する」のが主旨で、現実的にはその節の主力と予想されるA級レーサ

## ●大村ミッドナイトレース4日目(12月5日・12R)

艇番	登番	レーサー	級	日程	初日								
					3	9	7	12	3		8		
1	4530	篠崎 元志	A1	R	3	9	7	12	3		8		
				艇番	6	4	3	1	2		5		
				着順	①	⑤	②	②	①		④		
2	5015	高橋 竜矢	A2	R	3	11	7		6	11	4		
				艇番	2	6	1		3	5	5		
				着順	⑤	③	①		①	③	④		
3	4241	大串 重幸	B1	R	1	11	5		6		3		
				艇番	1	5	2		4		6		
				着順	④	⑥	⑤		⑤		②		
4	3622	山崎 智也	A1	R	3	12	10		3	9	6		
				艇番	3	4	1		3	2	6		
				着順	②	⑤	①		②	②	③		
5	4590	渡邊 優美	A1	R	8				8	12	5		
				艇番	1				3	5	2	6	2
				着順	①				②	①	③	⑤	③
6	4394	永嶋 裕一	B1	R	1	7			4		1		
				艇番	2	5	1		4		4		3
				着順	③	⑤	②		④		④		⑤

1の出走回数が多くなり、枠番的にも有利に組まれることが多い。一方記念においては、一般戦よりもずっと公平性が重視され、出走回数や枠番の偏りは少ない。一般戦の実戦例を挙げてみよう。左は、12月5日の大村ミッドナイトレース12Rの出走表だ。

断然の主役と目される篠崎元志が有利な1号艇。この節7走目となるが、2回目の1号艇に組まれた。

篠崎と上位を争うと目されるのは、まず格上の山崎智也が4号艇。6号艇は1回だけで5号艇はゼロ。3号艇が2回あり、ここは今節2回目の4号艇だ。さらに2号艇には今節好調なA2級の髙橋竜矢、5号艇に女子A1で機力上々の渡邊優美。この3人も今節7走目として組まれた。

一方、B1級で、今節の成績も未勝利の2人が3号艇と6号艇に入れられている。ともに6走目で今節初めての艇番だが、ここは相手が強く苦戦必至か。必然的に予想の中心は、1・2・4・5号艇の4人となる。なお結果は、①↓⑤↓②と入って1250円の5番人気だった。



●2022年にマスターズ  
チャンピオンの出走資格を  
得るレーサー

[12月7日時点における勝率上位]

登番	レーサー	勝率
3897	白井 英治	8.11
3876	中辻 崇人	6.79
3933	山地 正樹	6.72
3952	中澤 和志	6.64
3874	山本 寛久	6.53
3898	平田 忠則	6.45
3900	香川素子♡	6.22
3841	佐々木和伸	6.21
3873	別府 昌樹	6.19
3893	汐崎 正則	6.07
3842	星野 太郎	5.91
3931	黒崎 竜也	5.89
4000	松本 博昭	5.89

\*成績対象期間:  
2021年2月1日～22年1月31日  
(1976年4月2日～  
1977年4月1日生まれのみ)



ボートレースの特徴として、レーサーとしての寿命が極めて長く、40代でも上位で活躍するケースが多い。ちなみに昨年のタービーの出場者の平均年齢は39.1歳だった。

40代後半になっても、「マスターズチャンピオン」というプレミアムGIがあつて、このレースには45歳以上の強豪が集結する。昨年は参戦1年目の新人、原田幸哉が優勝した。

同レースは毎年4月に開催されるが、



40代戦士も元気で強い  
マスターズにも目標だ

1月末までが選考期間なので、勝率がボーター付近ならば勝負駆けに挑む。左表は今年、初の出走資格を得る者のうち勝率上位者たちだ。

最近では出場ボーターラインが上がってきており、今年は6.50を上回りそう。今回の目玉である白井英治はもちろん当確だが、SGウィナーの中澤和志も有力。GI制覇歴のある山本寛久や平田忠則もまだボーターより少し下だということだからレベルが高い。香川素子・佐々木和伸・別府昌樹らはかなり

の上積みが必要だ。

ただ、勝率では及ばぬレーサーにも、別の出場ルートは残されている。1年間に10戦ほど組まれているマスターズリーグ戦で優勝することだ。年に数人は、このリーグ戦の優勝でマスターズチャンピオンへの参戦を果たしている。ベテランレーサーをあま

り知らないという人は今後、リーグ戦にも注目して欲しい。思わぬ個性を発見し、他のレースでの予想にも大いに役立つこともあるはずだ。

●今年の「最優秀新人」を争う124期以降の有望ルーキーたち  
2022年前期適用勝率ベスト15

順	登番	レーサー	支部	勝率	1着	優出	平均ST	平均S順
1	5087	佐藤 航	埼玉	5.82	19	2	0.13	2.7
2	5084	末永 和也	佐賀	5.75	15	3	0.15	3.2
3	5121	定松 勇樹	佐賀	5.31	12	0	0.17	3.2
4	5112	砂長 知輝	埼玉	5.10	11	1	0.14	2.8
5	5091	為本 智也	福井	4.95	13	1	0.15	3.1
6	5095	小原 聡将	東京	4.94	6	0	0.17	3.3
7	5089	前田 翔	愛知	4.84	13	0	0.18	3.8
8	5075	中島 秀治	滋賀	4.74	14	0	0.16	3.1
9	5120	山本稔太郎	愛知	4.71	9	0	0.16	3.3
10	5088	高憧四季♡	大阪	4.68	20	0	0.16	3.2
11	5142	常住 蓮	佐賀	4.57	6	0	0.15	2.8
12	5092	篠原 晟弥	福岡	4.55	10	0	0.16	3.0
13	5094	生田波美音♡	東京	4.53	7	0	0.17	3.6
14	5082	一色 凌雅	愛知	4.47	8	1	0.19	3.9
15	5141	大澤 風葵	群馬	4.44	10	1	0.18	3.7



ボート界の将来を背負う  
有望新人を先物買い!!

毎年、新期に登録された年の翌年から3年以内の新人の中で、最も優秀な成績(勝率・1着数・獲得賞金など)を残したレーサーは「最優秀新人選手」として表彰される。2022年に対象になるのは124期生(登番5070)以降のレーサーだ。これから1年の長い戦いが始まる。参考までに左表で、22年前期適用勝率ベスト15を紹介しよう。

まず記者間の評判では、「埼玉勢VS佐賀勢」という声が聞かれる。勝率トップの佐藤航は近況の上昇度なら一番。スタートの切れもアップしてきた。砂長知輝はまだ2:3着が多いが、1着が増えて



末永和也も初のA級入り



スタートが鋭くなった佐藤航

くれば一気に上位へ台頭しそうだ。

一方佐賀勢は、124期末末永和也、125期定松勇樹、126期常住蓮と、3期続けて養成所の修了記念チャンプを出したように、支部内でライバルが多く活気が満ちている。

埼玉&佐賀勢に割って入るとすれば、その筆頭候補は愛知の前田翔だろう。既にA級経験もあり、兄篤哉(20年に受賞)に続くタイトル獲得を目指す。大穴では、女子の高憧四季を推す声も。女子戦が多いため、一気の勝率アップと1着の固め打ちが可能。実際に前期成績でも1着数はトップ。その旋回力は侮れない。

# レーサーのこぼれ

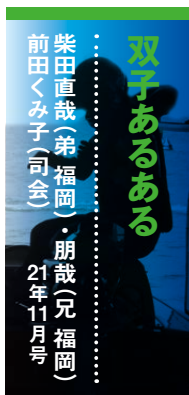
マクルインタビューダイジェスト



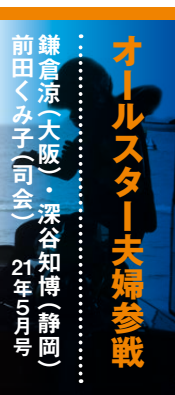
直哉(弟)



朋哉(兄)



INTERVIEW DIGEST



**朋哉** 自分たちはそんなに似ているとは思ってないんですけどね。  
**前くみ** 今は成長して、もしかすると違いも大きくなってきたのかもしれないですけど、小さい頃から、本人たちは似ていないかと思っていましたか？  
**朋哉** 歯磨きをするのに鏡の前でふたりで並んだ時、

**前くみ** 兄弟で自分の顔を確認しながら、双子のもう一方の顔も見ることって、あんまりないんじゃないですか？  
**直哉** 言われてみるとそうかもしれないですね(笑)。  
**朋哉** 自分たちはそんなに似ているとは思ってないんですけどね。

**前くみ** 夫婦でオールスター出場おめでとうございます！  
**深谷** 投票していただいた方々に本当に感謝ですし、期待に応えたいです。結婚する前には、オールスターやオーシャンカップ(※ともに15年)などと一緒に走っているんですけど、だいぶ久しぶりだし、新鮮です。  
**鎌倉** 結婚してからは一緒に走ることで体が初めてですからね。どうなのかなどちょっと楽しみですけど、たぶんいつも通りで変わらないんだろうなとは思いますが。支部が違うので地区選と一緒にすることがないですよ。だから余計にSGと一緒に走ってみたいからというのがあります。

**前くみ** これはシミです(笑)。  
**前くみ** 失礼しました(苦笑)。髪型や眉毛の形が違うから、見分けはつきますけど、声は聞き分けられないかもしれない。  
**朋哉** 声は似てるみたいです。親も電話で、例えば僕が運転中に直哉に代わりに出てもらったりすると、母が直哉のことを僕だと思って話したりしてます。

「どこが似とるんやろうね」なんて言ったりしていました。間違えられる意味が分からなくて。  
**前くみ** あ、やっぱり間違えられることはあったのね。朋哉くんは頬にほくろがある？

**前くみ** 一緒に準備ができるんじゃないですか？  
**深谷** 準備？  
**前くみ** 情報交換したり…。  
**鎌倉** もともと付き合ってるころから、レース場ではあまり会話をしていたなかったんですよ。  
**深谷** 細かい話をすると、プロペラも彼女は僕が使っているのだと合わないって言っていたんです。だから情報として提供してもどうか、という感じはあったんです。ただ最近、僕が行ったレース場以後から回転されるのがちよこちよこあつたんですが、ゲージを渡したら意外と使えたといっけて帰ってきたので、嬉しかったです。



## 舟券買う時は穴党でした！

松尾拓(三重)

21年7月号



僕を買い続けると儲かるんですか？  
知らなかったです。一概には言えませ  
んけれど、オッズを見て自分から配当

が高かったら闘争心が湧くってことは  
ありますね(笑)。逆にルーキー戦の  
1号艇みたいな時は見ないようにしま  
す。外枠でオッズが高いときにはやっ  
てやろうと思いますけど、インでバリ  
バリに売れていたらプレッシャーにし  
かならないですからね(苦笑)。

回収率が高いということは、信頼感  
が低いってことなんでしょうけど、そ  
れは仕方ないです。僕自身、記念で  
通用するの？ って思いながら走っ  
ているわけですから。選手になる前は  
舟券を買っていましたけど、僕もどち  
かといえば穴寄りに買っていた方なの  
で、僕から穴を取ってくれる人がいる  
なら嬉しいです。

## 結婚した影響

入海馨(岡山)

21年10月号



勝率がアップしたのはフライングも  
事故もなかったこと、調整もあつて  
いたことが大きかったと思います。そ  
れと最近では展示タイムを気にするよう

になりました。やっぱりエンジンが出  
ていれば勝ちやすいので、調整が合っ  
ているかどうかの目安として、参考に  
しています。

結婚？ その影響も結構あったと思  
います。去年の11月に結婚して(妻は  
新田有理)、そこからの半年間で残し  
た成績ですもんね。すごく気持ちがあ  
らなくなったというか、レースに集中で  
きるようになりました。心の広い相手な  
るので、のびのびさせてもらっています。  
一人でやっている、「やらんと！  
やらんと！」と無理してしまうタイプ  
なんですけど、妻が「無事に帰ってく  
ればええんよ」とリラックスさせてく  
れます。それがいい方向に繋がってい  
るんだと思います。

## 勝って「いーい、この野郎」

深川真二(佐賀)

21年11月号



エンジンが悪くてもターン力でピンピ  
ンとやる

ろうけど、  
やっぱり  
歳を取っ  
てそれが  
できるか  
というど  
無理やけ  
ん。エン

ジンが出よったら1着取れるけど、出  
よらんかったら厳しいけんね。2、3  
着で粘ってなんとか上(準優・優勝戦)  
に行つてね。

それにしても若いやつはどんどん進  
化する。それに乗つかろうと頑張りよ  
るけど、それがダメなら他のところを  
特化させていかんと、年寄りはどこど  
ん消えていくけんね。年寄りなりにス  
タートをもっと行かないけんとかね。  
やっぱりイキのいい若手と戦いたいも  
んね。毎日でも戦いたいよ。勝って「い  
えーい、この野郎」って気分になりた  
いけん、もちろん負けたら悔しいけど  
(笑)。でもそういう強い人間と戦うか  
ら仕事を楽しい。

## 展示タイムと伸びは別物！

坂口周(三重)

21年3月号



伸びに関しては自信がついてきまし  
た。伸びている節は、周りが脅威に思  
つてくれていると思うんですよ。そう  
なると、

進入でも  
楽にカド  
が取れた  
り……。今  
後もそこ  
を特化し  
ていこう  
と思つて

います。

展示タイムはそれほど目立たない？  
そうですね。僕は展示タイムと伸びっ  
て全く別物だと思っています。たとえ  
ば、200メートルから起こしてスリ  
ット付近で一番伸びるような調整にし  
た時と、スローから伸びるような調整  
をする時とは、展示タイムへの反映度  
合いがまったく変わらぬと思うんです。  
だから展示タイムで判断するのではな  
く、スリット付近の伸び方を見て判断  
して欲しいです。タイムはあくまで参  
考程度だと思っています。

伸びていって内側を焦らせてまくり  
差し、というのが僕の理想とする展開  
です。伸びるから全部まくるという考  
え方ではないです。



## 「ごまかしながら何とか！」 前本 和(広島)

21年10月号



49歳で(自身の)最高勝率っていうのは珍しいことなのかもしれません、自分がやっていること

は若いころからずっと変わっていません。それが少しづつ成果として出てきて

いるんじゃないかと思えます。プロペラに関してや道中の走りは、経験でまだまだ上げられるとは思っています。確かにターンスピードでは若い選手に勝てないとは思いますが、どね。その辺はごまかしながら何とかできているんだと思います(笑)。

同期の濱野谷憲吾はスピードも負けないと言っていた？ ハハハハ(笑)。オーシャンカップの優勝戦前には「リラックス、リラックス」と声をかけました。この年齢になって同期がSGで続けて優勝するって、なかなかないことでしょうね。素直にうれしかったです、グランプリと一緒に出られると思うと、それもまた楽しみです。

### INTERVIEW DIGEST

## リスクは覚悟の上 菅章哉(徳島)

21年12月号



勝てるコースと勝てるクルトで行くというのがテーマです。4号艇だからといって4コースにはこだわらないです、2号艇だからといって2コース

にはこだわらない。深インになるくらいなら1号艇でも1コースにこだわらなくてもいいかと思っているくらいです。

クルト3つてピット離れがよくないから普通は6コースが定位置になるんですよね。それがクルト3でも6コースに行くことが意外と少ないんです。僕を意識して外に回る選手も出てきたりしているので、そういう動きも踏まえてレースをしていきたいですね。

今の戦法はリスクしかないですけど、技量がない人間がリスクを背負わなかったら何もないと思っているので。自分が上の舞台に立つためにはある程度リスクを背負う覚悟は必要だと思っています。

## ステップアップできた 大上 卓人(広島)

21年9月号



GII優勝(20年10月びわこ)の影響？ 今振り返ればあったかもしれないですね。ずっとレースのしやすさとか出走を求めてきていた

を求めているんですけど、そこを少し捨てても伸びを求めるとい

こともその後はやるようになりました。調整の幅が広がったというか、柔軟に色々なペラを試せるようになったと思います。

GIはまだ一度も1号艇で優勝戦に乗ったことはないですし、手が届くイメージは正直に言えばなかったです。でも今年(21年)浜名湖周年で得点トップを取れたことで、意識できるようになったというか、自分としてはひとつステップアップできたのかなと思います。いまはGIが入るのはすごく嬉しいです。精神的にキツくならないか？ いや、呼ばれない方がシンドイです。なんで呼ばれなかったんだらうって落ち込みます。

## リハビリで体質改善しました 黒井 達矢(埼玉)

21年9月号



ケガのリハビリは本当にキツかったです(21年3月復帰)。最初は正座もできない。ポートには正座できないと乗れないので大丈夫かなって思いました。歩

けるようになるまで2か月くらいかな。そこから筋力をつけて

いくために、栄養面から見直しました。タンパク質を積極的に摂ったり。プロテインとか飲んだら太るのになって思っていたんですけど、その分糖質を減らせば、筋肉量が増えて脂肪が減りますよね。おかげで体質も改善できましたよ。筋肉量が増えて、体脂肪はケガの前は10%だったのが4%台になりました。

復帰3節目で優勝？ あれは三国のスーパーエンジンのおかげですよ。エンジン様々でした(笑)。でも、本当に復帰してから7点台の勝率(21後期)が取れるとは想像もしていなかったです。5点くらい取れば、いや、しっかり走ればいかなぐらいの気持ちでした。

勝負の鍵は「コンマ06」  
栗城匠(東京)  
21年8月号



3〜4コースのスタートタイミングが早い? スタートって行こうという気持ちがあれば早いのはいけないと思うんですけど、スタートの時は行こうという気持ちになっただけなんです。

思います。インの時は、以前は同体だったから勝てるって思ってたんですけど、結果的に平均STが遅くなっていました。これじゃダメだと思って、勝負どころはコンマ06、普通はコンマ10、今は全部のコースで早いスタートを行くつもりです。

ただ、途中で風を感じたりすると放ることもあって、遅れたり…。4秒前までは確認するようにしていますが難しいですよ、スタートは。全速でスタートしたいとは思ってませんが、調整が合っていない時は全速のつもりで行くと遅れてしまうこともあるんです。なので様子を見つつスタートすることもたまにはあります。

プロペラの調整力  
古澤光紀(福岡)  
21年11月号



レススタイルは地味ですね。攻めるタイプじゃないし、パンチがあるわけじゃないし…。まだ自分の武器はこれだというものを見つけていません。

ここ1年くらいの成績がいいのはプロペラ調整がうまくできたから。エンジンの引きもよかったと思うけど、自分の乗り方に合った調整ができていたと思います。

プロペラに関しては、自分の形に叩き変えるというよりは、もらった形からちょよちょよ調整していったって合わせることが多いです。最近では求めているところを引き出すような調整が比較的できています。それでもG1に行くとならぶ方が違ったりはしますけど、ガッツリ叩き変えるのが嫌いなわけじゃないので、タイミングを見計らってそういうことをしていくつもりではいます。

INTERVIEW DIGEST

12人システムは良かった  
池田浩二(愛知)  
21年12月号



目標? SGの優勝回数も10回優勝したら表彰されとか、何かあるんだしたら目標にしたいけど、なければ

別に回数にこだわりはない。何回でも一緒。そもそもあまり目標を立てるタイプじゃないからね。今だったら、まだ獲ってないSGを獲りたいくらいかな。グランドスラム、そこかな。

あとグラランプリ。正直、やっぱりまだ12人がいいっていう思いを引きずっているのがある。かつての12人の中に入って、開会式が終わっていったん帰ってからまた来るっていう、あのシステムがすごく良かった。

現在のシステムは6位のハードルが結構高い。SG優勝が必要になる。でも6位以内でグラランプリに行ければ、優勝できるチャンスはすごくあると思う。いいエンジンが確約されて、シリース落ちもない。すごい近道だと思う。

涙のわけ  
前田将太(福岡)  
21年9月号



G1初優勝まではだいぶ時間がかりましたね。けど地元で優勝できたのはよかった。ファンの方も熱いし、す

ごく待っていてくれたんだなと感じました。正直に言えばタイトルに関しては家族やファン、周りの人の方が自分より求めているんじゃないかと思うんです。

若い頃から期待されて「次に獲るのは…」みたいな言ってもらってきたのは嬉しかったです。でもそれが最近では「タイトルが…」みたいになってきましたよね。自分としてはいつか獲れるだろうという気持ちではいたんですけど、周りの人は「惜しかったね」って言われるのにもう飽きたというか、ツライ思いもさせちゃっていったんどうなと思います。そういう思いから解放することができたことが良かったです。涙の理由はそういう気持ちからです。

# ひまひま

データ

## O F F L I N E

### テレポートスペシャル

オフィシャルウェブで得られる情報から、SG出場権争いや年間成績など興味深いデータを発信している人気サイトが「ひまひまデータ」。月刊マクルの連載「ひまひまオフライン」には、さらに一步踏み込んだデータを提供してくれています。ここでは過去に取り上げたいろいろなテーマを再集計して、最新のデータをお届けします。予想には役立たないかもしれませんが、知ると楽しい、そんなデータです。

\*特記ない限り、データはすべて96年以降のものです。

●表1 男女混合戦、女子のグレード別優勝・優出(延べ人数)

グレード	出場	準優	優出	優勝
SG	400	30	3	0
GI	799	150	25	2
GII(男女同予選)	128	29	5	1
GII(男女予選別)	112	41	9	1
GIII以下	約34500		1451	152
合計			1493	156

BBCTの準決勝は、準優に含まれていません。

●表2 男女混合戦、女子の優勝回数上位8

レーサー	優勝	優出	備考	通算優勝	備考
寺田 千恵	18	102	優出2位	70	通算優勝3位
日高 逸子	14	110	優出1位	75	通算優勝2位
海野ゆかり	9	57	優出4位	59	通算優勝5位
谷川 里江	8	55	優出5位	45	通算優勝8位
横西 奏恵	8	35	優出7位	46	通算優勝7位
田口 節子	7	42	優出6位	64	通算優勝4位
平高 奈菜	6	25		29	
山川美由紀	5	64	優出3位	80	通算優勝1位

表2は混合戦優勝回数が多い女子レーサーです。通算優勝は女子戦を含めた優勝回数です。寺田千恵選手が混合戦の優勝回数でダントツの1位。上位にベテランが多いのは、女子戦がさほど多くなかった時期から走っているためでしょう。今後、寺田選手や日高選手の記録に近づく女子レーサーは誰か、楽しみなどころです。

十数年前から人気に火がついて、その勢いは現在も衰えない女子戦。開催数も次第が増えており、男女W優勝戦なども含めると今年年間60開催以上。15年ほど前までは30開催ほどだったことを考えると、隔世の感があります。しかしもちろん、女子レーサーは女子戦だけ走るわけではありません。一般戦の混合戦はもちろん、GIの周年記念に幹旋されたり、自ら権利を勝ち取ってプレミアムGIやSGに出場するレーサーもいます。表1は96年以降、女子レーサーが出場した混合戦をグレード別に分け、その結果を集計したものです(数字は延べ人数)。

女子戦だけでなく、混合戦で強い女子も要チェック!

GIII以下だと女子レーサーの優勝もかなり多くなりますが、やはりGII以上だとなかなか優勝には至りません。最近では19年のGII MB大賞で守屋美穂選手が優勝していますが、GIだと13年に平山智加選手が尼崎60周年で優勝したのがいちばん最近のこと。そしてSGでは、優出こそありますが優勝はまだありません。男女の最低体重差が5kgと広がったことにより、混合戦でさらに女子が活躍することが期待されます。いつか表のSG優勝欄に名前を刻む女子レーサーが出てくるでしょうか。



●表3 97前期～22前期で初A1級後の継続状況

継続状況	達成人数	全人数	A1継続率
初A1次の期もA1	323	713	45%
連続2期の次の期もA1	195	316	62%
連続3期の次の期もA1	142	193	74%
連続4期の次の期もA1	119	141	84%
連続5期の次の期もA1	101	118	86%
連続6期の次の期もA1	84	101	83%
連続7期の次の期もA1	69	81	85%
連続8期の次の期もA1	65	68	96%
連続9期の次の期もA1	59	65	91%

\*A1級特進を除く

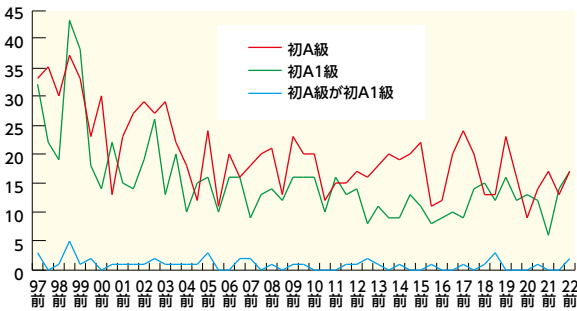
多くのレーサーがA級、中でもA1級を目指しているはず。級別により幹旋されるレース数やグレードが異なり、それが賞金に結びつくのですから。だから初めてA級に昇格すると喜びも格別でしょう。

グラフ1は期ごとに何人が初A級（多くはA2級）、あるいは初A1級になったかを示したものです。98年頃の人数が多くなっていますが、これはA1級の割合が15%から20%に増えたため。それ以外は、増減があるものだいたい毎期初A級が20人弱、初A1級が10〜15人程度生まれています。

初A1級の中にはA2級を飛ばして

初のア1級昇格  
維持するのは  
かなり大変！

●グラフ1 初A級・初A1級の期別人数



いきなりA1級に昇級する特進A1とも呼べるケースがあります。95年後期以降だと全部で49人いて、22年前期も福岡の柴田直哉選手と広島の実森美祐が特進でA1となりました。

ただ、初めてA1級となったレーサー達には厳しい現実もあります。表3はA1継続状況です（特進除く）。実に45%のレーサーが次の期にA1級から陥落してしまいます。ただし、ここで踏ん張れば徐々にA1級に残る率が上がっていきます。

特進A1の場合は、過去49人のうち、2期目も継続できたのは10人でした。そしてそのうち大阪の木下翔太選手（15年後期昇級）と小池修平選手（20年後期昇級）のふたりは現在もA1級を継続しています。

●表5 57歳以上で出走した女子選手

レーサー	最終出走
鵜飼菜穂子	61歳0ヶ月
日高 逸子	60歳1ヶ月
西 茂登子	59歳1ヶ月
高橋 淳美	58歳5ヶ月
長田 光子	58歳5ヶ月
渡辺 千草	57歳11ヶ月
宮本 紀美	57歳5ヶ月

□は現役選手  
※現役選手は11月22日時点の年齢

●表4 歴代の年長出走記録

レーサー	最終出走
高塚 清一	74歳8ヶ月
加藤 峻二	73歳3ヶ月
高橋 二郎	72歳6ヶ月
山下 恭文	70歳2ヶ月
万谷 章	70歳1ヶ月
安岐 義晴	69歳9ヶ月
館野 友良	69歳5ヶ月
中村 義雄	68歳7ヶ月
新井 敏司	68歳7ヶ月
森田 敏	68歳3ヶ月

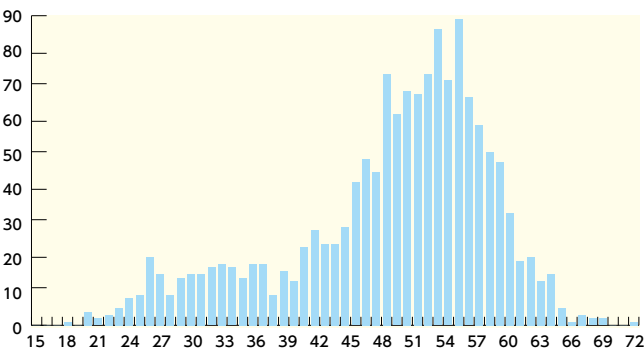
※現役選手は11月22日時点の年齢

プロアスリートの中でポトトレイサーは現役が長いことで知られます。ではいったい何歳ぐらいで引退するのでしょうか？ グラフ2は96年から昨年11月末ごろまでに引退した1459人の引退時の年齢を集計したものです。

平均年齢を計算すると49・3歳。ただこれは結婚などで早くに引退した女子なども含むので、成績や体力の衰えによって引退するレーサーの平均年齢はも

現役が長いポトレイサー  
引退時の年齢で  
最も多いのは56歳

●グラフ2 レーサー引退時の年齢別人数



う少し高いはず。実際、グラフでは最も多い引退年齢は56歳。そして56歳以降に引退した選手が全体の30%に達しています。やはりポトレイサーの現役期間はかなり長いのです。

その現役の長さの象徴が、表5のレーサー達です。しかもご存知の通り、年長出走記録ベスト10のうち高塚清一選手と高橋二期選手は現役です。高塚選手の現役期間にいたってはなんと57年になっています。もちろんふたりともただ走るだけでなく、今でもたびたび1着も記録。驚嘆すべきレーサーなのです。

以前は比較的短かった女子レーサーの現役期間も最近では長くなりました。57

●表6 SG出場時のドリーム率45%以上

レーサー	DR回数	SG回数	DR率
植木 通彦	61	69	88.4%
松井 繁	115	168	68.5%
野中 和夫	8	13	61.5%
山崎 智也	74	135	54.8%
峰 竜太	35	67	52.2%
桐生 順平	29	63	46.0%
今村 豊	59	129	45.7%
中道 善博	10	22	45.5%

\*GP、同シリーズ除く

●表7 SGドリーム組の優出人数

年	CL	AS	GC	OC	MB	DB	CC
1996	1			3	1	4	
1997	4	2	1	1	1	2	
1998	3	2	1	1	1	1	1
1999	2		1	2	2	2	4
2000	1	1		3	1	1	1
2001	4	4	5	3	2	1	4
2002	2	2	1	1	2	2	2
2003	3	1		3	4	2	1
2004		2	2	2	3	3	4
2005		3	3	2	3		2
2006	1	2	2	1	2	2	2
2007	1	3	3	1		2	1
2008	1	1	3	2	1		1
2009		3	2	2	1	3	1
2010	2		1	1	1	1	1
2011		2		1	1	1	1
2012		1	1		4		2
2013	1	3	3	2		2	
2014	3	2	2	1		1	2
2015		2	2	1			2
2016	1	2	3	1		1	2
2017	4	3		1	2	2	2
2018	2	1	2	1	1	1	2
2019	1	2		2	2	1	2
2020	2	2		2	1	2	2
2021	2	1	2	2	2	2	1

■色はドリーム組から優勝者

CL:ボートレースクラシック AS:ボートレースオールスター GC:グランドチャンピオン OC:オーシャンカップ MB:ボートレースメモリアル DB:ボートレースタービー CC:チャレンジカップ

●表10 F持ちでGI以上優勝6回以上

レーサー	F持優勝	F持優出	合計優勝	合計優出
今垣光太郎	11	38	38	134
西島 義則	10	32	16	62
市川 哲也	8	26	22	78
池田 浩二	7	26	22	111
今村 豊	6	28	24	128
田頭 実	6	19	8	30
松井 繁	6	38	66	225
井口 佳典	6	28	21	96

SGレース初日の華といえはなんと、05年以降は6号艇を除いて選出順位順となっているので、レーサーにとっては名譽でもあるでしょう。シリーズの得点増しにもなるので、メリットも大いはずです。

表6はSGに出場した際、ドリームに乗る確率が45%以上だったレーサー達

近のドリーム常連組の名前もあります。特に峰選手は昨年のチャレンジCまで11連続で乗っているため、ドリーム率は今後とも上がり続けるはず。表7はドリーム組のうち、何人が優出したのかを調べたもので、地の緑はドリーム組から優勝者が出たことを示しています。8割以上のSGでドリーム組が優出しており、さらに優勝者の3割以上がドリーム組です。ドリーム組全員が優出し

たケースはありませんが、いつの日かそんなSGがあるかもしれません。

少し古い話ですが2016年5月のこと。集団Fの一員となってしまう上平真二選手が、その翌日に10連勝の完全優勝を達成したことがあります。F直後の節、さらに開始の5月でもあったので驚いたものです。

そこで完全優勝への挑戦者にどれくらいF持ちがいて、その達成率はどれくらいかを調べたものが表8。驚いたことに、FなしよりF持ちの方が、完全Vの達成率は高くなっています。おそらくF持ちで完全優勝に挑戦するようなケースは、エンジンが最高に出ているような時ではないでしょうか。

●表8 完全優勝挑戦・達成選手数

F持ち	達成	挑戦	達成率
Fなし	239	379	63%
F1	49	65	75%
F2以上	0	0	-

(2021.11.17時点)

●表9 グレード別、F持ち優勝・優出選手数

グレード	全優勝戦数	F持ち優勝	F持ち優出	優勝率	平均人数
SG	227	38	255	14.9%	1.12
GI	1006	154	1055	14.6%	1.05
GII以下	19682	2780	17415	16.0%	0.89
合計	20915	2972	18725	15.9%	0.90

(2021.11.17時点) 平均人数は優勝戦あたりのF持ちレーサーの数

SGレース初日の華といえはなんと、05年以降は6号艇を除いて選出順位順となっているので、レーサーにとっては名譽でもあるでしょう。シリーズの得点増しにもなるので、メリットも大いはずです。

歳を超えて走ったことがある女子はすでに過去7人を教え、しかもそのうちの5人は今でも現役です。グレートマザー！日高逸子選手は22年前期はA2級。女子としては史上初の還暦A級レーサーとなります。まだまだ女子戦人気を牽引して欲しいものです。

です(グランプリ・グランプリシリーズは除く)。1位は引退した植木通彦さん。実に88%超の数字を残していますが、脂が乗りきりSGに出ればドリームは当たり前という時期に引退されているので、この数字になっています。また、最近こそ予選スタートも多い松井繁選手ですが、70%に迫るさすがのドリーム率です。ちなみに植木さんは出場したSGで33連続、松井繁選手は32連続でドリームに乗った記録も残っています。

実はF持ちでも優勝確率は変わらない!

別に調べたものです。全グレード平均ではほぼ16%、つまり6分の1です。SGやGIこそやや劣りますが、優勝戦



●表11 短期間で100勝達成

100勝達成日	レーサー	年	年間勝利
7月17日	篠崎 元志	2019年	139
8月12日	深川 真二	2012年	129
8月14日	峰 竜太	2020年	134
8月29日	峰 竜太	2015年	136
9月3日	松田 雅文	1996年	139
9月7日	都築 正治	2007年	131
9月7日	徳増 秀樹	2006年	128

(2021.11.17時点)

●表12 ST無事故レースの継続中上位

22前期	レーサー	連続	最後の選賞FL
B1	河合 三弘	5926	1999/3/14
A2	小野 勇作	4689	2004/9/17
B1	信濃 由行	4293	2002/7/19
B1	藤田 竜弘	4130	2006/7/15
B1	白井 弘文	3092	2005/12/30
A2	金子 貴志	2915	2011/10/2
A1	山崎 智也	2681	2010/7/5
A2	深井 利寿	2555	2012/9/12
A1	塩田 北斗	2532	2013/2/27
B1	小澤 学	2525	2009/2/24
A2	小川 潤二	2505	2012/9/21
B1	栗原 謙治	2387	2010/1/25
A2	大谷 直弘	2206	2013/12/21
A2	大庭 元明	2173	2014/4/4
B1	村岡 賢	2157	2012/1/25
B1	橋口 真樹	2125	2010/8/21

どれくらいのスピードで勝利を重ねていけるかを考えたことがあるでしょうか？ 表11は1月1日以降、短期間で

100日間で何勝できる？  
無事故で走るのも  
大切です！

の予想ではF持ちでもさほど気にする必要はないことが分かります。そして表10は、GI以上のレースでF持ちで6回以上優勝した選手のリストです。優勝戦Fの罰則が厳しくなるGIやSGでこの実績は、そのレーサーのハートの強さを表しているような気がします。特に西島選手はGI以上で優出した場合、その半数以上がF持ちだったとは。ちなみに西島選手や井口選手は、優勝数のうち4回がSG、今垣選手や井口選手は3回がSGでした。ただ、最近5年ほどは、F持ち優出はあっても、優勝は減っている傾向が見られます。

100勝に到達したレーサーのリストです。最も早かったのは19年の篠崎元志選手で、6か月とちょっとで100勝に到達しています。この時は10年に勝野竜司選手が打ち立てた年間140勝の記録を抜くことが期待されたのですが、7月以降は記念に斡旋されることが増え、残念ながら年間139勝で終わりました。ちなみにリストのレーサー達は都築正治選手を除いてその年の最多勝利選手賞に輝いています。

となく走ることも必要です。そこでスタート事故無しに注目したのが表12です。1位の河合三弘選手は6000レース近く、ST事故を起こしていません。実に20年以上に渡る大記録で、奇跡といっても言い過ぎではないでしょう。2000走以上無事故のレーサーがこれほどいることも驚きですが、注目点は山崎智也選手です。ベテランファンにとつては01年グランプリ優勝戦Fのイメージ

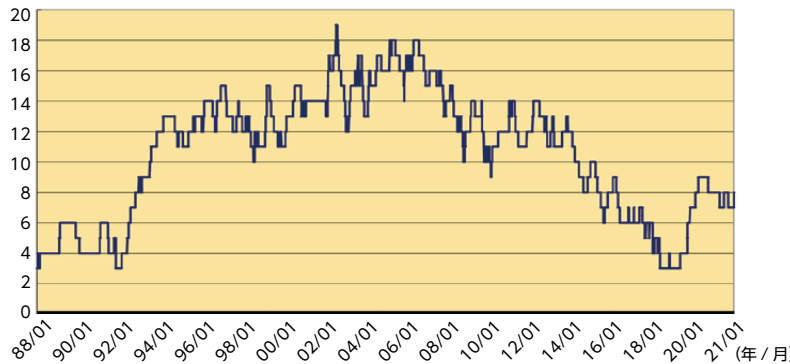
20代のタイトルホルダー  
最近では  
増加傾向にあります！

若手レーサーの伸び悩みが指摘されてもなかなか経ちました。最近でこそ、20歳台のレーサーが記念タイトルを獲得することも増えてきましたが、一時は本当に低迷していました。グラフは20代のタイトルホルダー(GI以上)が何人いたのかを示したものです(その年以前に勝った人を含みます)。その時代の若手レーサーたちの勢いが非常にわかりやすく出ているのではないのでしょうか？

88年頃といえは引退した今村豊さんがまだ20代でした。この頃はポートはベテランが強い競技とされ、20代の活躍はさほど多くなかったことが分かります。激変するのは93、94年頃からです。植木通彦さんが先陣を切り、服部幸男選手や松井繁選手らが出てきて、濱野谷憲吾選手、山崎智也選手、瓜生正義選手などへと続き、さらに銀河系と呼ばれる85期も99年にデビューします。

彼らが20代だったころには、20代タイトルホルダーが14、15人いるのが当たり前の状況でした。しかしその多くが30代に突入し始めると、GI以上のレースの覇者が減り始めます。18年から19年に

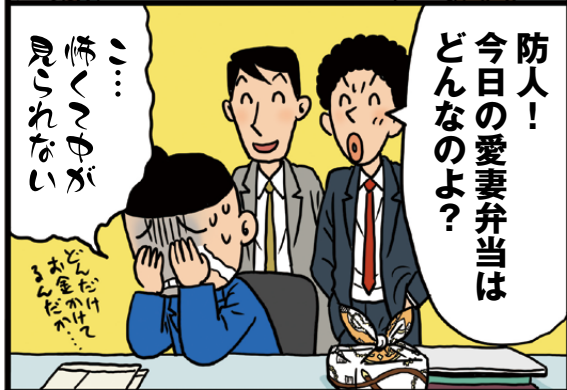
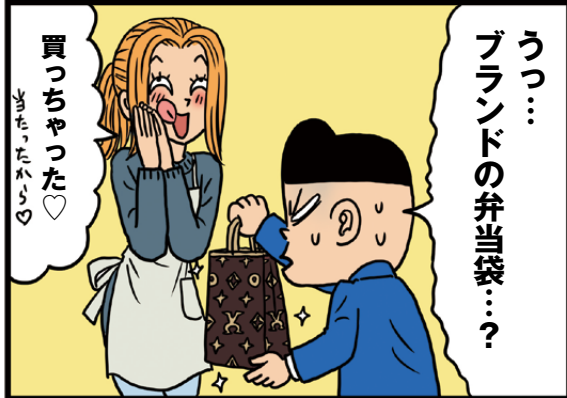
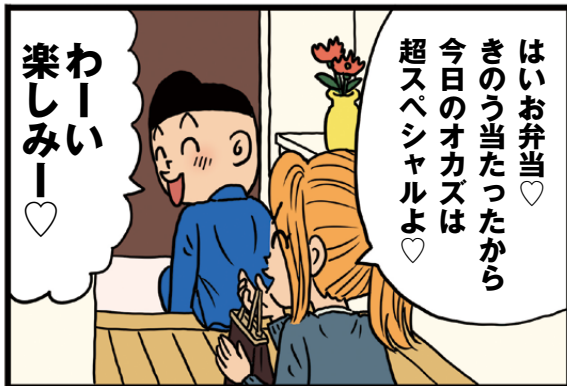
●グラフ3 88年以降、20代GI以上タイトルホルダー数の変遷



かけてはわずか3人という時期もあったほどです。しかし昨年は、平和島周年の栗城匠選手や浜名湖周年の板橋侑我選手など、20代半ばのレーサーがGIで優勝しています。20代の閉塞状況は19年頃で底を打ったのかもしれない。今後は、以前ほどとはいかないまでも、より多くの若手レーサーが台頭してくる可能性があります。それでこそ老若男女のそれぞれが活躍できる、ポートレースのいいところでもあるのでしょうか。



# 超スペシャル弁当



お弁当の中身は  
愛妻の  
おいしい予想!

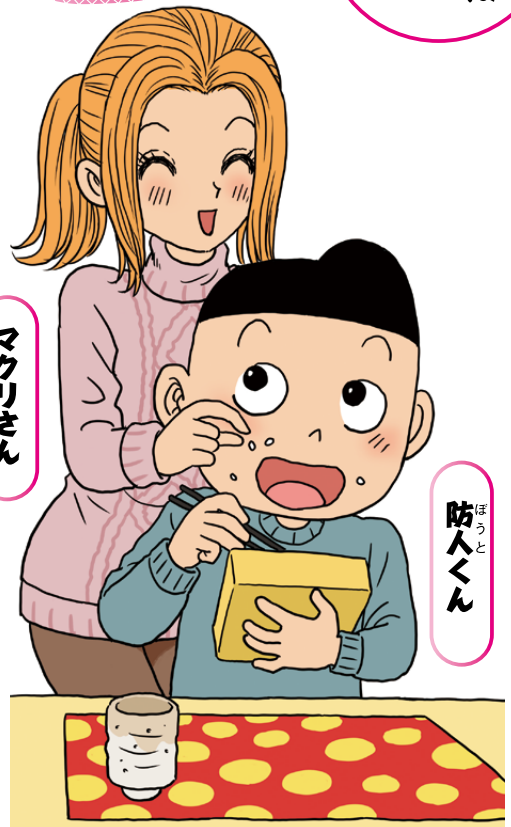
# 愛

# 妻

# 電

# 投

お昼休みは  
電投の  
お時間!



マクリさん

防人くん

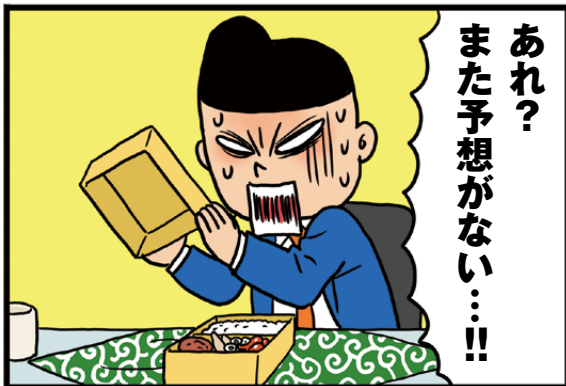
舟券耽溺作家

## 若林健次

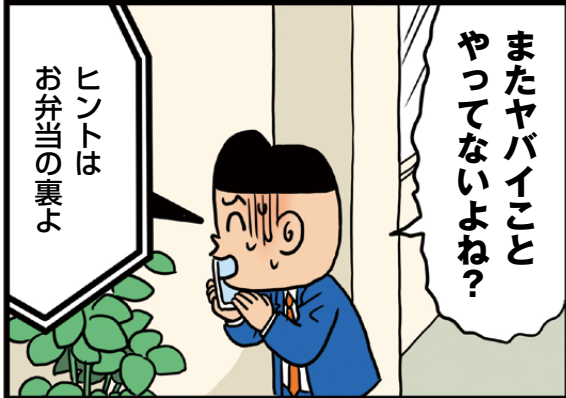




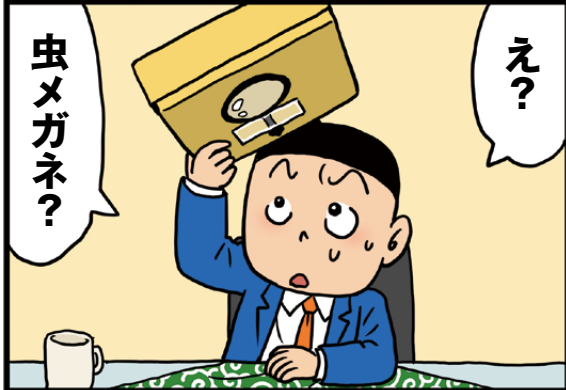
# 予想アーティスト



あれ？  
また予想がない…!!



またヤバイこと  
やってないよね？



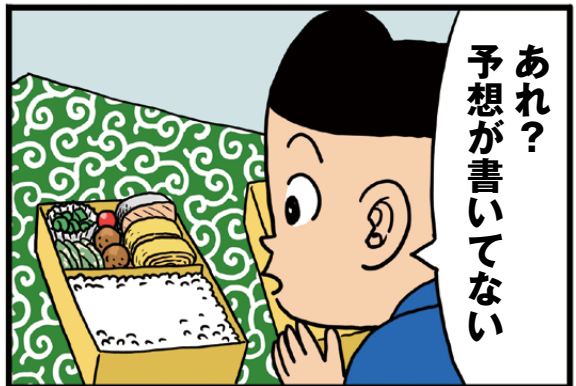
え？



米粒ーっ!!!  
いつの間にかこんな  
テクニク!!



# 予想ニンジャ



あれ？  
予想が書いてない

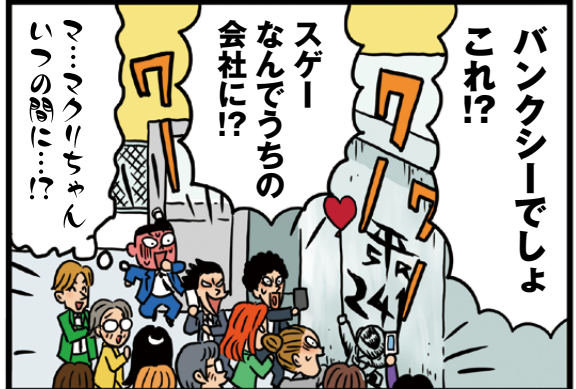


今日は予想  
休みなの？



屋上？

あれ  
なんだ？  
騒がしいな



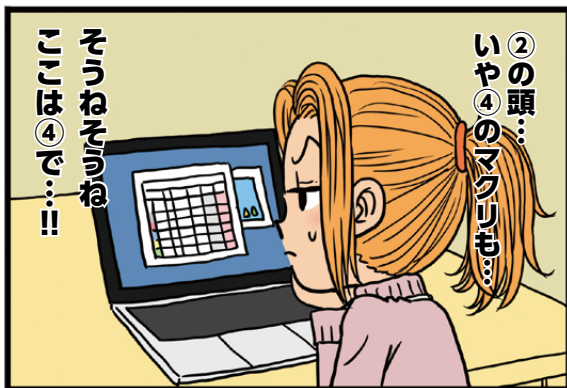
バンクシーでしょ  
これ!?

スゲー  
なんでうちの  
会社に!?

マ...マクリちゃん  
いつの間にか...!?

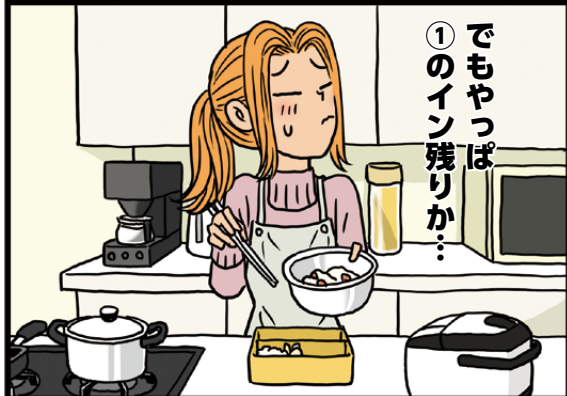


# エビス買い

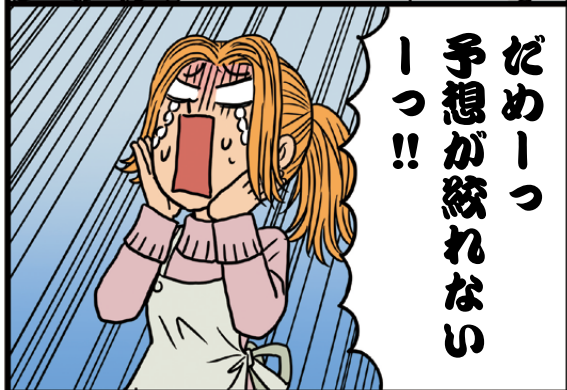


そっかねそっかね  
1111は④だ...!!!

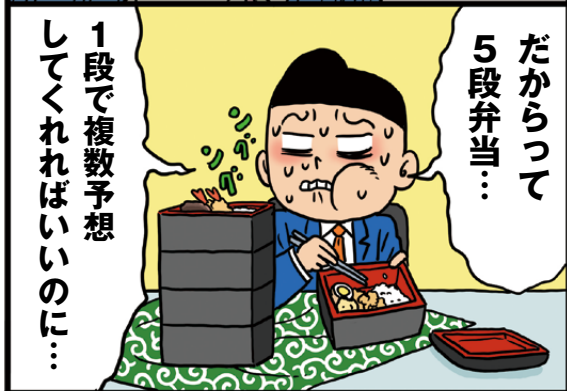
②の頭...  
いや④のマツリも...



でもやっぱ  
①のイン残りが...



だめーっ  
予想が絞れない  
しっ!!



1段で複数予想  
してくれればいいの...

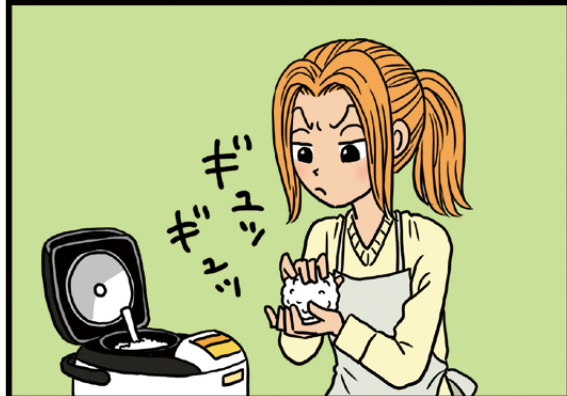
だからって  
5段弁当...



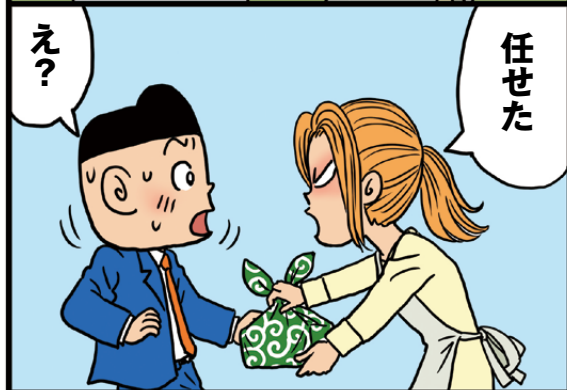
# 二人三脚



うーん  
今日は予想が  
見えないわー

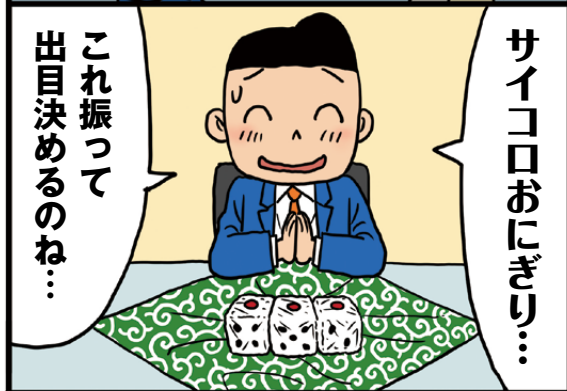


ギョッ  
ギョッ



任せた

え?



サイコロおにぎり...

これ振って  
出目決めるのね...





# ボートレースの映像は **BOATCAST**

ライブも

リプレイも

ニュースも

バラエティも

## ハートビートボート+が期間限定で!



磯山さやか、永尾まりやが人気で、本誌編集部も出演しているBSフジのボートレース番組「ハートビートボート+」が、BOATCASTでは直前放送分を期間限定配信。地上波の「BOATRACEプレミア」も随時配信している。



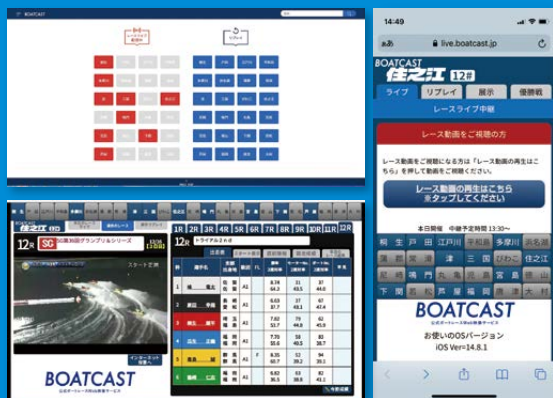
BOATCAST

検索

昨年10月1日よりスタートした「BOATCAST」、みなさんはもう活用しているだろうか。ボートレースに関する様々な映像コンテンツを集約した公式ボートレースWeb映像サービスで、スマートフォン・PC・タブレットから、登録不要、ログインなしで見ることができる。豊富なコンテンツが用意されているが、利用料金は一切かからない完全無料。今すぐ検索だ!!



## ライブの便利さ超抜級!



BOATCASTを下までスクロールすると、24場のライブとリプレイのコーナーにたどり着く。これが実に電投との相性がいい。見た目には他のレースライブと変わらないのだが、PC版は上段、スマホは下段に場名の一覧がある。レース開始時刻を把握しておけば、すぐさまチャンネルを変えてレースをチェックできる。全国全場の舟券が買える電投時代に欠かせないツールになりそうだ。

## ニュースやバラエティも



その日1日の出来事をまとめたニュース番組「BOATCAST NEWS」は21時から毎日配信(ミッドナイト開催時は22時スタート)。当日の結果はもちろん、翌日のレース展望、曜日ごとの企画も好評だ。JLRCで放送された企画番組も無料で、好きなタイミングで見ることができ。



## レディーストップレーサー

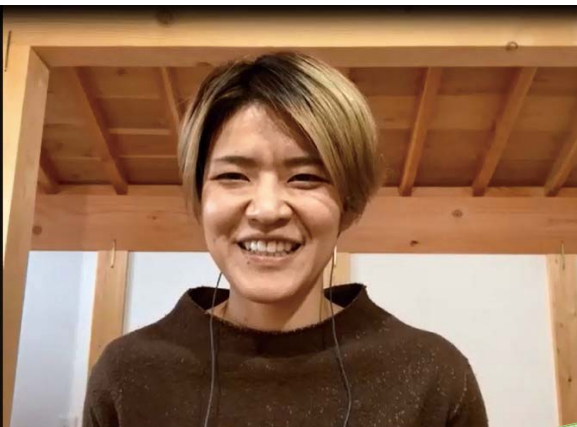
# レポート Talk

テレポート女子座談会

Guest

平山智加  
守屋美穂  
遠藤エミ

プライベートで集まってくれました!



## 男子最低体重の変更は 女子にとって大きなチャンス

### ○21年の振り返り

—今回は21年の女子ボートレース界を牽引した3人のポートレーサーにお越しいただきました。まずはレディースチャンピオン(浜名湖)で優勝した遠藤エミ選手。夏のタイトルを獲得し、これまで苦手としていた夏場を克服したのでは?

**遠藤** 克服は...どうですかね。節間ノーハンマーだったので。引いたエンジンが良かったのが一番。とはいえ、

去年の夏に自分の中で「こうしたいんだ」というのが見えたので、今年の夏は楽しみではありました。冬は冬で、レディースチャンピオンカップ(多摩川)で優勝して、BBCトリーナメント(鳴門)で優出できたことは良かったなと思います。まあ鳴門ももらった時からエンジンが良かったんですけどね。ただ優勝戦に関しては、タイムは出たけど、節間で一番伸びてなかったかなあ。あとくじ運、大事ですね。「6」を引いちゃうと...。

**守屋** 私は地道にコツコツやってきた感じがします。SGで予選突破したりしたけど、それはエンジンが良かったので。

**遠藤** それ、私が言ったのと一緒(笑)。

**守屋** えへ(笑)。

**平山** 私の21年は、上半期はリズムが

良くなかったですね。コロナで開催中止になったり、せつかくSGに出られたのにフライングを切ったりして。だけど下半期に入ってから、出走機会も増えて調子上がり、年末へ向けていい状態になっていったのかなど。前半戦の状況なら、とても年末のことなんて口にできる状況ではなかったのに、最終的には12人に入るところまで来たので、よしとします。

—20年11月以降、男子レーサーとの体重差が5kgに広がった。この影響は?  
**遠藤** 混合戦は記念を少ししか走っていないんで...。記念だとみんなエンジンを出すし、テクニクが違うので、今のところ変わりはないかなあ。

**守屋** 体重のおかげなのか、エンジンの調整がうまくいっていたからなのかはわからないですけど、混合戦でエンジンが出るが多かったと思います。だけど4kg差から5kg差になった違いと言われると、あまりわからないかもしれないですね。

**平山** 私は二人と印象が違って、この1kg差は女子レーサーにとって本当に大きい、ありがたいことだと思っています。そのおかげで私も一般戦で優勝させてもらったし、他の女子レーサーも一般戦で優出したり優勝したり、明らかに増えましたよね。これは絶対1



**平山智加** ひらやまちか 98期

香川県出身、香川支部。13年1月尼崎60周年でGI初優勝、同年12月クイーンズクライマックス(芦屋)、20年8月レディースチャンピオン(多摩川)優勝。2人の子を持つママさんレーサー。夫は福田雅一。



**守屋美穂** もりやみほ 101期

岡山県出身、岡山支部。18年11月レディースチャレンジカップ(芦屋)、19年7月モーターボート大賞(芦屋)で優勝。レディースオールスターファン投票で1位、SGオールスター4年連続出場中の人気女子レーサー。



**遠藤エミ** えんどうえみ 102期

滋賀県出身、滋賀支部。17年クイーンズクライマックス、21年レディースチャレンジカップ優勝。レディースチャレンジカップV4、「最強女子」の異名を持つ強豪レーサー。

kgの分だと思う。この差っていうのは、出足、立ち上がりの鋭さなのか。何度引き波に沈められても、ビュンって出ていくんですよ。男子レーサーは混合戦で女子レーサーと走るの嫌なんじゃないかと思えますよ。

**守屋** たしかにそうかもしれないですね。

**平山** 例えば、すごいターンをする同じくらいの技量の二人がいたとして、どちらかに5kgの重りをつけて一緒にターンをしてみたら、重りをつけた方はまず勝てないですよ。実験をしたわけじゃないから確実といえるわけじゃないけど、影響が最も大きいのは出足の部分。もちろん直線でも多少の差はつくかもしれないけど。だから今後、女子レーサーがSGを獲れるチャンスは絶対にあると思う。エミちゃんも美穂ちゃんもエンジンを出すし、早いスタートを行く、ターンだって負けない。全てがうまくかみ合ったとき、女子レーサーのタイトルも現実になるんじゃないか。

ないでしようか。

**守屋** 私ならやれる？ そんなの思わないですよ(笑)。

**平山** うそつきー！ 絶対思ってる！

**守屋** いや、自信はないですよ。けどレースに行くときはちゃんと自信を持ってレースに臨もうとは思っています。

**平山** 昔屋のオーシャンカップの時なんか惜しかったでしょ。

**守屋** 予選中はエンジンも仕上がっていたし、「チャンスあるかも」って思ったんですよ。だけど勝負どころで失敗したり、準備でターンスピードの違いを目の当たりにして、結果を残せなかった。エンジンが出ているだけじゃ勝てないということを感じました。もつと技量も、駆け引きも、勝負強さも培っていかないといけない部分なんだと思います。

○21年がんばった大賞

—では続いて、それぞれが21年で一番がんばったなあと思うポイントは？



## みんなで褒め合おう 遠藤エミ の いいところ

**守屋** エミちゃんのいいところは、いっぱいあるんで、平山さんお先にどうぞ(笑)。

**平山** (笑)。エミちゃんは優しいのに強い。思いやりがあって素敵なお子。自分のペースを保ちつつ、決して自分勝手ではない。レースも上手で研究熱心。力強さと柔軟さが融合してて、うまいレーサーから強いレーサーになっていると思います。後輩ですけど、私もすごく刺激をもらっています。

**守屋** どうしよ、平山さんよりいいこと言えるかな(笑)。エミちゃんは、私のことをいっつも慰めてくれるところが好き(笑)。「大丈夫！」って言ってくれるんですよ。つい弱音を言っちゃう存在で、頼りにしています。





## みんなで褒め合おう 守屋美穂 の いいところ

**遠藤** いつも思うんよ、すごいなって。研究熱心だし、尊敬しています。年々勝ちに対する気持ちが強くなって行って、私も負けられないようにしなきゃって思っています。

**平山** 人を魅了する力。「見ててください」っていう言葉は、美穂ちゃんが言うから効力があるんですよ。美穂ちゃんにそう言われたら、男性だけじゃなくて女性も応援したいって思っちゃう。うちの子供が、「守屋美穂に会いたい」って言うんですよ。4歳にそういわせるほど、人を惹きつける力があると思う。あと、エミちゃんが言った内に秘めた気持ちの強さよね。ストイックさが結果に結びついてる。

**平山** 丸亀9月の混合戦。予選2位だったんですけど、準優勝も優勝も前付けがあつて100m起こし。優勝戦は加えて3カドにされたんですけど、自信のスタートを決めて、優勝できました。これが今年の中では一番価値ある戦いだつたなあと思っています。

——旦那様(福田雅一選手)も褒めてくれた？

**平山** 家でレースを観てて、私が張り切って深い起こしにしてるし、3カドにされたから、進入中に「これは無理かもしれない」って言ってたらしいです

(笑)。なんとか押し切れたんで、「よかったね」って言ってくれました。

**守屋** 私は達成できた目標もあるんですけど、できなかったものもあって、やっぱりできなかったことの方が気持ちを占めるんですよ。もっと頑張れたんじゃないかって。そう思うと、自分のことを褒めていいのかなって感じます。

**遠藤** 達成できたことって？

**守屋** 6回優勝してクラシックの権利が獲れたこと。

**平山** それは褒めてもいいんじゃない

の？

**守屋** そうですね。エミちゃんは今？

**遠藤** レディースチャンピオンかなあ。

**守屋** だよね(笑)。

**遠藤** ノーハンマーで1節間過ごしたし。

**守屋** 今までノーハンマーの節ってある？

**遠藤** ないよね。今回が初めて。2、3日叩かないってことはあつたけど。

**守屋** 途中で叩きたくなつたんじゃない？

**遠藤** 4日目の朝、おかしくなってたんで叩きたかつたけど、我慢した。それがよかつたと思つてるけど。

**平山** エミちゃんは初めてだつて言つたけど、私はレジャー人生の中で5回ぐらいはあるかな。10回まではないと思うけど。

**守屋** 私は1回だけ。4日節でエンジンが出てたこともあるけど、プロペラが特殊な形すぎて、どうしたらいいかわからなくて叩けなかつた(笑)。

○宿舎あるある

——宿舎では何をして過ごすんですか？

**平山** 他愛もないことを喋ってますよ。何を買ったとか、これ使ってみたらよかつたよとか。



# ボートレースの発展 タイトル、歴史に名を刻む

**守屋** それこそ10月のびわこ周年では、女子はこの3人であっせんされて、宿舍も同部屋で、前検・初日とかめっちゃ喋りましたよね。

**平山** え？ 私、加わってたっけ？

**遠藤** 平山さんが一番喋ってましたよ〜(笑)！

**平山** そうだっけ(笑)。二人が聞き上

手やから、ついおしゃべりしちゃうんですよ。

——女子ひとりあっせんという経験もあつたかと思う。

**平山** 記念やSGだと何度かありまし

**遠藤** たね。私も。

**平山** 喋らないからさみしいよね。楽

といえば楽だけど。

**遠藤** そうですね。

**平山** 津の古い宿舍でお風呂を出た直後、濱野谷憲吾さんに「幽霊が出たかと思った」って驚かれたことがありますね(笑)。一人だと、変なところに控室が設けられることがあるんですよ。

**守屋** 三人だとちゃんとした部屋を与えてもらえますもんね。

——女子戦が増えて、仕事の日程が過密になって大変では？

**平山** レース場に入るとレースに集中するだけ。睡眠時間もしつかり取れるので、体力面ではどうということはないけど、家のことができないのがつらいですね。子どもを見つけてくれる祖父母にかかる負担も大きいし…。

**守屋** 仕事にたくさん行くと、家族に負担をかけるのはそうですね。犠牲にしていることもいっぱいあります。

**平山** うち子どもが4歳と3歳なので、毎節帰るたびにいろんな成長を感じられるのが楽しみです。喋る言葉とか増えますし。

**守屋** うちは6歳なので、成長の面では落ち着きましたけど、その楽しみはすごくわかります。



## ○レディースタールスターと夢

——レディースタールスターファン投票、1位守屋選手、おめでとうございませう！ 中間発表からトップを守り抜きました。

**守屋** ありがとうございます。

**遠藤** 守屋さん、何したん!!(笑)

**平山** 「見ててください」とって言ったんよね(笑)。私は4位。

**守屋** エミちゃんは？

**遠藤** 7位。ドリーム乗れず……。予選から頑張ります。



みんなで褒め合おう

# 平山智加

の

# いいところ

**守屋** いろんなことに対する把握する力、分析力がすごく、頭がいいというか、キレるなど。それを言葉にして表現したりするうまさ、伝える力はいつもすごいなっています。アドバイスなんてほんとの確ですしね。

**遠藤** 平山さんは芯の強さがあるように感じます。

**守屋** わかる！

**遠藤** ねっ！ レース面においては、チャンスをもものにする勝負強さもあるし。あとそんなに年齢が違わないのに、大人なんですよ(笑)。今つけてる新しく買ったイヤホンのことも気付いてくれましたしね。そういうところ、さすがだと思います。





—では、最後にみなさんの今後の夢や目標をうかがいます。

**平山** 私の大きな目標は「ボートレースの発展」。何もせずにいたら、小さくなる一方だと思っんですね。それは娯楽であり、なくてもいい存在だから。これまでボート業界を支えてくれたシニアの方たちがいなくなってしまう前に、20〜50代の現役世代をしっかりと取り込んでおかないと、ボートレースに関わる人たちみんなが困ることになる。そうならないために、もっと認知度を上げたいし、もっと身近な存在になって、みんなが遊びに来てくれる場所になってほしい。もちろん、ボートレーサーを目指す人ももっともって増えてほしいですね。ボート界を盛り上げたいと思って走っているし、微々たるものですが、SNSでの発信もやっています。

**守屋** 私はタイトルがほしいです。周



りの強いレーサーたちは、タイトルを獲ったり、表彰を受けたりしている。そんな名誉ある舞台に私も立ちたいと思っています。

**遠藤** 歴史に名を刻めるレーサーになること。そのためにSG優勝、これが今の私の目標です。しっかりと覚悟を持って、取り組んでいきます。





# Girls Racer

gravure



撮りおろし

5146  
野田彩加 (山口)

Ayaka  
NODA

5118  
野田なづき (佐賀)

Nazuki  
NODA

5155  
内山七海 (福岡)

Nanami  
UCHIYAMA





野田なづき

2000年7月19日生まれの21歳。2019年11月に唐津でデビューした125期生。学生時代はバレーボール部に所属。現在B1級で、2月のレディースオールスター初出場を果たす。

Nazuki  
NODA



Girls  
Racer  
gravure





## 野田彩加

2003年4月30日生まれの18歳。  
2020年5月に徳山でデビューした  
126期生。学生時代は空手のアジ  
ア大会で優勝。現在B1級。師匠  
は向井美鈴。好きな食べ物は卵、  
スイーツ、チーズ。



Ayaka  
NODA





### 内山七海

1996年12月12日生まれの25歳。2020年11月に若松でデビューした127期生。学生時代はテニスやラク罗斯をしていた。現在B2級。祖父が元レーサーの橋本忠さん(登番671)。







2022年度も  
開催!

# ミッドナイト ボートレース!

好きな時間に  
いつでもボートレース!

**ベテランの電話投票会員 (加入者番号が6ケタ) の方は、  
ぜひネット投票会員に申し込みを!**

2021年度に開催されたミッドナイトボートレース。下関、若松、大村で全5回が開催され、大好評を得ました。そしてもちろん、2022年度も開催します(日程は未定)。ただ、ミッドナイトレースを楽しむには、ネット投票会員であることが必要です。電話投票会員の方は、この機会にぜひ、ネット投票会員へのご登録を!!

ネット投票会員  
登録はこちらから



■指定銀行 (PayPay / 楽天 / 三井住友インター  
ネットバンキング / 住信SBI / 三菱UFJ / リソナ /  
埼玉りそな / 福岡 / 広島 / スルガ / auじぶん / ゆう  
ちょ)の口座をお持ちの方はすぐに登録が可能です。

# 2022年度 SG・PGIなど開催スケジュール

4/19~24		第23回 <b>マスターズチャンピオン</b> MASTERS CHAMPIONSHIP	三国 初開催 前回V 原田幸哉	
5/24~29		第49回 <b>ボートレースオールスター</b> BOATRACE ALL STARS	宮島 初開催 前回V 峰竜太	
6/21~26		第32回 <b>グランドチャンピオン</b> GRAND CHAMPIONSHIP	唐津 21年ぶり3回目 前回V 前本泰和	
7/5~10		第4回 <b>全国ボートレース甲子園</b>	下関(N) 初開催 前回V 毒島誠	
7/19~24		第27回 <b>オーシャンカップ</b> OCEAN CUP	尼崎 10年ぶり3回目 前回V 濱野谷憲吾	
8/2~7		第36回 <b>レディースチャンピオン</b> LADIES CHAMPIONSHIP	丸亀(N) 7年ぶり3回目 前回V 遠藤エミ	
8/23~28		第68回 <b>ボートレースメモリアル</b> BOATRACE MEMORIAL	浜名湖 30年ぶり4回目 前回V 原田幸哉	
9/20~25		第9回 <b>ヤングダービー</b> YOUNG DERBY	多摩川 初開催 前回V 羽野直也	
10/25~30		第69回 <b>ボートレースダービー</b> BOATRACE DERBY	常滑 8年ぶり4回目 前回V 平本真之	
11/22~27		第25回 <b>チャレンジカップ</b> CHALLENGE CUP <small>㊄ 第9回 レディースチャレンジカップ</small>	鳴門 初開催 前回V 辻栄蔵	
12/13~18		第37回 <b>グランプリ</b> THE GRAND PRIX	大村(N) 初開催 前回V 瓜生正義	
12/26~31		第11回 <b>クイーンズクライマックス</b> QUEENS CLIMAX	住之江 8年ぶり2回目 前回V 田口節子	
1/12~15		第4回 <b>ボートレースバトルチャンピオントーナメント</b> BBC TOURNAMENT	びわこ 初開催 前回V 丸野一樹	
2/21~26		第7回 <b>レディースオールスター</b> LADIES ALL STARS	蒲郡(N) 初開催 第5回V 小野生奈	
3/16~21		第58回 <b>ボートレースクラシック</b> BOATRACE CLASSIC	平和島 3年ぶり17回目 第56回V 石野貴之	

(N)はナイター開催



テレビポート会員限定特別冊子 (非売品)

●発行 テレビポート 〒106-0032 東京都港区六本木 5-16-7 BOATRACE 六本木 ●編集協力 マーブル編集部

